

香りのルネサンス： サステナビリティとAIが拓く、次世代 フレグランス・エコシステム

Noto Sans JP

グローバル香料業界 (2025-2030)
戦略的分析レポート



Theme: Art Meets Algo-
rithm (芸術とアルゴリズム
の融合)



Context: 気候変動による
供給危機と、合成生物学・
AIによる産業構造の再定義。

エグゼクティブサマリー：パラダイムシフトの全貌



The Shift (構造変化)

- From: 経験と勘、特許分子 (Captive Molecule) の販売。
- To: データとバイオロジー、統合ソリューション (BtoBtoC) の提供。



The Threat (脅威)

- 気候変動による天然原料の供給網崩壊。
- 製品のコモディティ化と、テクノロジー企業の参入による淘汰。



The Strategy (戦略的提言)

- リジェネラティブ・サプライチェーン: 環境再生型農業への投資。
- AI・データ駆動型R&D: 「暗黙知」から「形式知」への転換。
- ウェルネス市場への拡張: 「ニューロセントリック・フレグランス」の開拓。
- ハイブリッドM&A: スタートアップ技術の迅速な取り込み。

市場のパラドックス：成長する需要、限界を迎える供給



Demand Side

アジア太平洋地域の成長、中間層の拡大により需要増。

Supply Side

マダガスカル (バニラ) のサイクロン被害、インド (サンダルウッド) の枯渇リスク。

Conclusion: 「農業モデル」の限界。サプライチェーンの脆弱性が最大のリスク要因。

消費者革命：Z世代と「意味」への渴望



Identity over Status

香りは「ステータスシンボル」から「自己表現 (Identity)」へ。ジェンダーレスな香りの台頭。



The Lipstick Effect

インフレ下でも香水は「手頃な贅沢 (Affordable Luxury)」として堅調。



Transparency

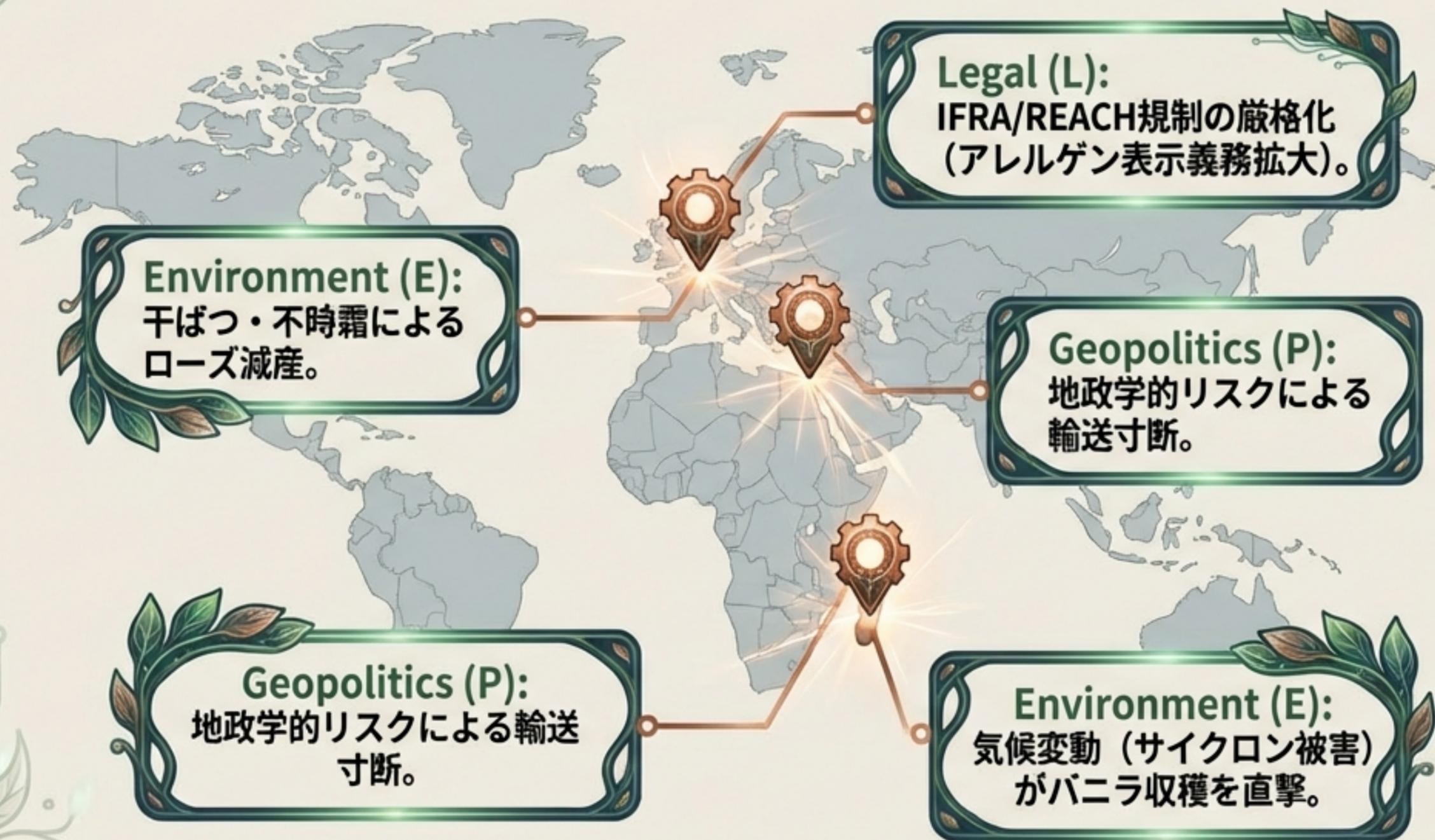
「クリーンラベル」への要求。成分の透明性と、原料の倫理的調達 (Ethical Sourcing) が購入の前提条件。



Storytelling

製品の背景にある「物語」への共感がブランドロイヤルティを生む。

サプライチェーンの崩壊：PESTLE分析による「圧迫」



Impact

- 天然原料への依存は、もはや「高級」ではなく「リスク」である。
- 生物多様性条約（名古屋議定書）によるABS（利益配分）の複雑化。

テクノロジーによる再生①：合成生物学と「細胞工場」

従来モデル：地理的・気候的制約あり



Cell Factory（細胞工場）：場所を選ばず、安定生産



“
「香料サプライ
チェーンの
『脱地理化』と
『脱農業化』。
”

Stability: 天候・産地に左右されない安定供給と価格。

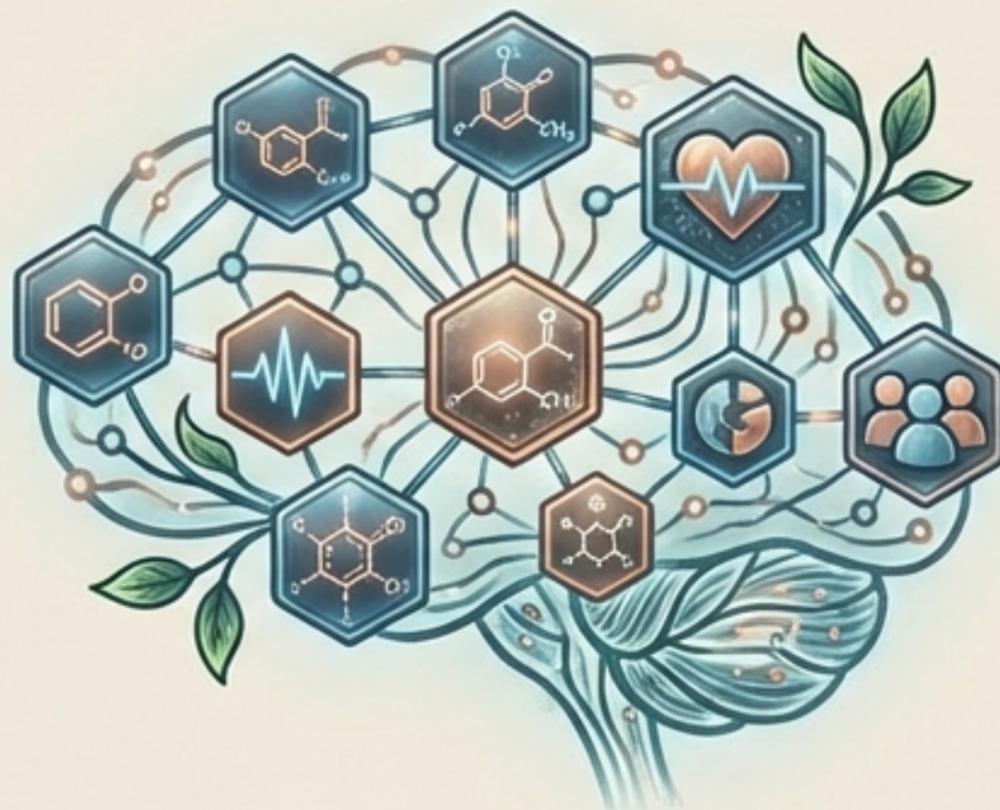
Sustainability: 森林伐採なし、動物由来原料（ムスク）の代替。

Scalability: バニリン、ヌートカトン、アンブロキシドの商業化成功。

テクノロジーによる再生②：AIと「形式知」化する嗅覚

Digital Nose

Traditional:
調香師の経験と勘
(暗黙知)。
開発に数年。



New Era:
データ駆動型R&D
(形式知)。AIによる
処方提案と予測。



Givaudan 'Carto'

- 直感的なタッチパネル操作で、AIが最適な処方を即座に提案。



symrise 

IBM

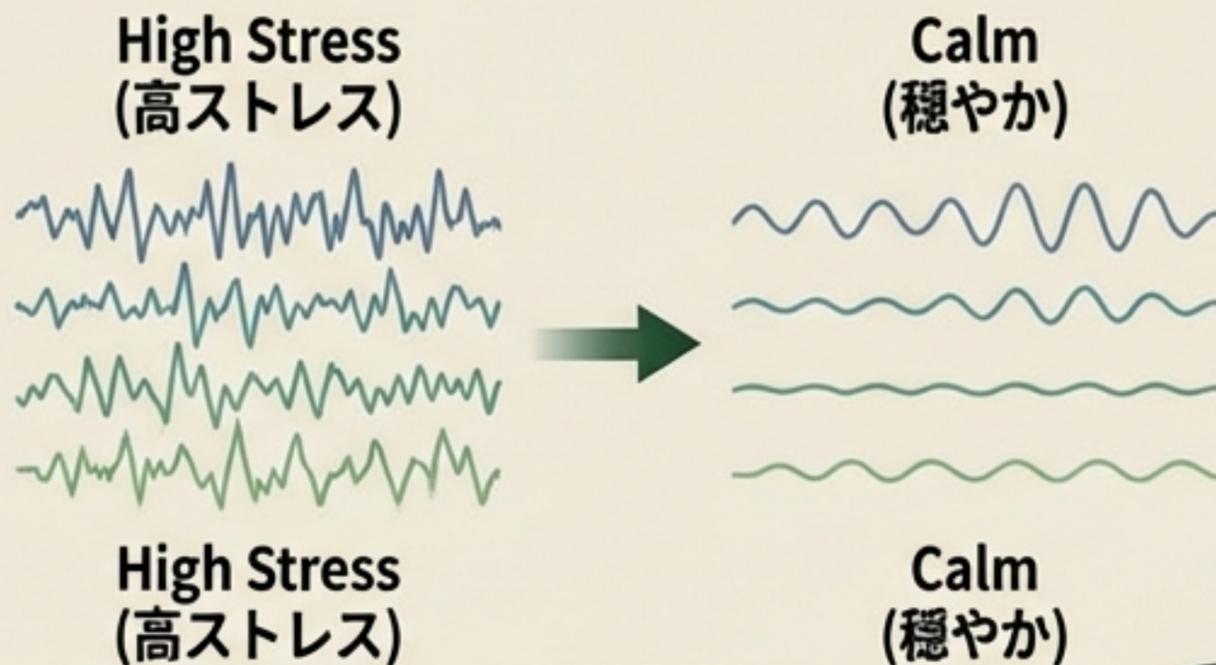
Symrise 'Philyra'

- IBMと共同開発。特定のターゲット（例：ブラジルのミレニアル世代）に響く香りを自動生成。



QSOR（定量的構造匂い相関）による分子設計の高速化。

新たな戦場：「機能性香料」とウェルネス市場



Neurocentric Fragrance (ニューロセントリック・フレグランス)

香りが脳や自律神経に与える影響を科学的に実証。

- ストレス軽減
- 睡眠改善
- 集中力向上

Tech Mention

Givaudan 'Myrissi' / Firmenich 'EmotiON':
AIを用いて香りと感情の関連性を解析。



香水産業から、メンタルヘルス・ウェルネス産業への領域拡張。

競争環境：寡占する「Big 4」のプラットフォーム戦略



Givaudan

売上高: ~\$8.3B R&D: ~7.6%



Strategy
デジタル化リーダー
(Carto, Myrissi)



Firmenich-DSM

売上高: ~\$13.8B



Strategy
栄養・健康・香りの
統合サイエンス企業

IFF

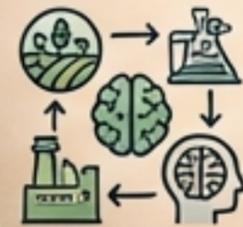
売上高: ~\$11.5B



Strategy
DuPont N&B統合による
バイオ技術強化

Symrise

売上高: ~\$5.4B



Strategy
原料の後方統合
(バニラ) とAI活用



Big 4 Market Share:
~75-80%



Avg EBITDA Margin:
~20%



Key Trend: 単なる製造業から「テクノロジー・プラットフォーム」への進化

チャレンジャー：ゲームチェンジャーとしてのTech系スタートアップ

The Disruptors (Tech-First)



- **Speed:** 既存のプロセスを無視した高速開発
- **Tech-First:** バイオ工学とAIネイティブ
- **Model:** 資産を持たない (Asset-light)



Case Study: Osmo

Google Researchからのスピニアウト。
「デジタル嗅覚」の構築。
大手が見過ごしてきた中小ブランド
(Long tail) へ直接サービスを提供し、
業界構造を迂回 (Disruption)。

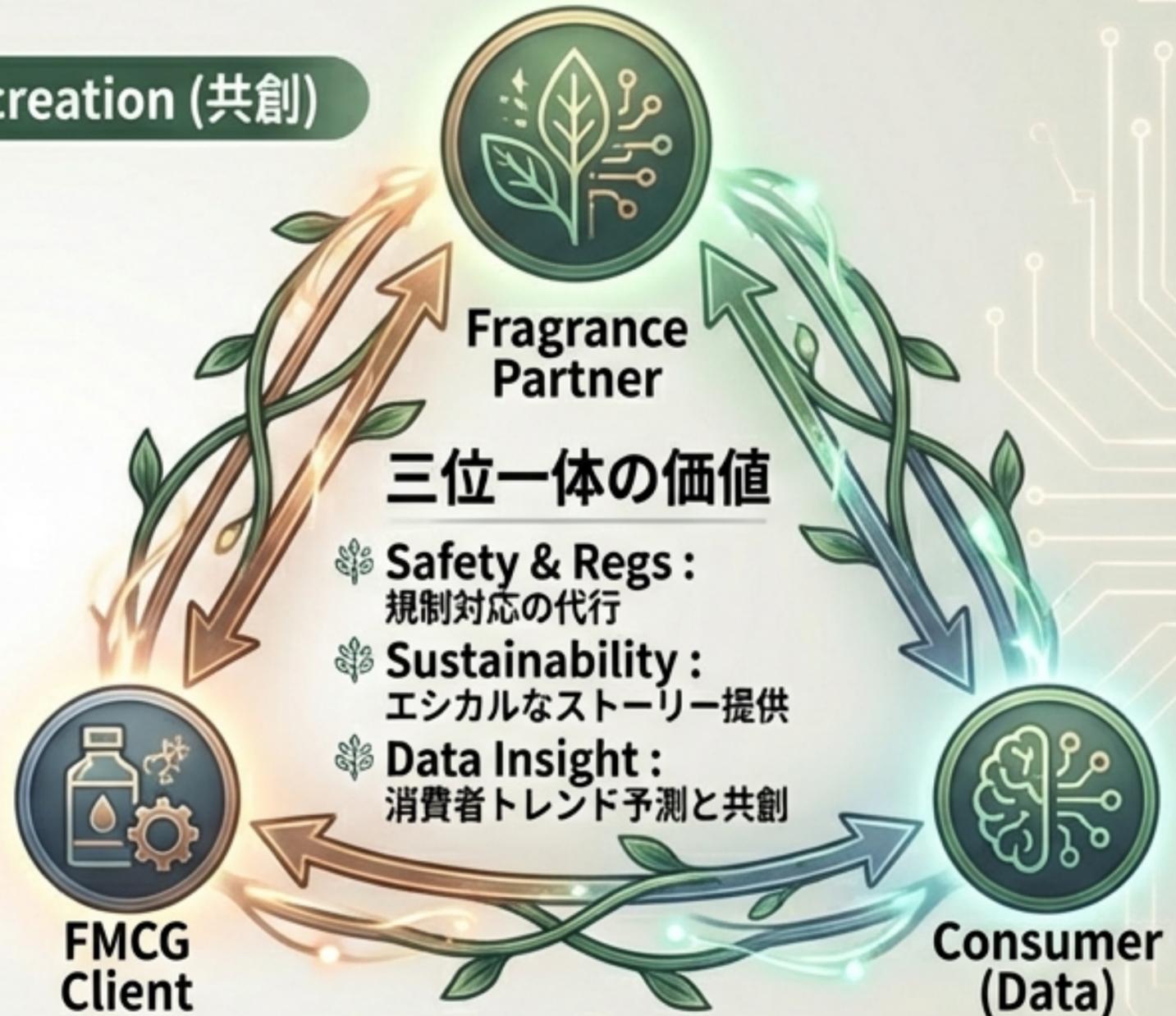
ビジネスモデルの転換：「BtoB」から「BtoBtoC」パートナーへ

Co-creation (共創)

Old Model



Transactional (単なる取引)



Fragrance Partner

三位一体の価値

- 🌿 Safety & Regs : 規制対応の代行
- 🌿 Sustainability : エシカルなストーリー提供
- 🌿 Data Insight : 消費者トレンド予測と共創

FMCG Client

Consumer (Data)

クライアントは「香り」だけでなく、「製品開発の失敗リスク低減」を買っている。

組織と人材：アートとサイエンスの「断絶」を埋める

Master Perfumer

Intuition (直感)
Art (芸術)
Tacit Knowledge (暗黙知)

The Challenge

War for Talent: データサイエンティストの獲得競争 (年収\$135k~)。GAFAMやバイオ医薬業界との競合。

Data Scientist / Bio-Engineer

Logic (論理)
Code (コード)
Explicit Knowledge (形式知)

The Solution

AIを「脅威」ではなく「創造性の拡張ツール」と定義するハイブリッド組織文化の醸成。



成長への選択肢：Make, Buy, or Ally?

Option A (自前主義)



内部変革 (Organic)

- Speed: Low (遅い)
- Control: High

評価: スピードが致命的に遅
遅く、成功確率：中

Option B (買収) - HIGHLIGHTED



戦略的M&A (Buy)

- Speed: High (速い)
- Risk: High (PMI)

評価: 時間を買う。競争優位獲得には必須 (成功確率：高)

Option C (提携)



エコシステム (Ally)

- Flexibility: High
- Control: Low

評価: リスク分散。技術の
主導権確保が課題

Recommendation: ハイブリッド戦略

中核技術 (Syn-Bio等) は「買収」で確保し、周辺技術 (トレンド分析等) は「提携」でカバーする。

アクションプラン：今後3年間のロードマップ

Phase 1 (Day 1-100):
戦略的基盤構築

Phase 2 (Year 1):
実行と統合

Phase 3 (Year 2-3):
新価値創造とスケーリング

M&A・提携専門チームの組成

テックハブ (シリコンバレー等) でのスカウティング開始

中核技術スタートアップの買収完了

パイロット製品 (バイオ香料) の開発着手

機能性香料 (ウェルネス) の市場投入

BtoBtoCプラットフォームの完全稼働

Vision 2030：香りのデジタルイゼーションとサーキュラーエコノミー

Future Scenario:

- 📈 Digital Scent: VR/ARとの融合、デジタル嗅覚体験。
- ⚙️ Circular Economy: アップサイクル香料（廃棄物からの価値創造）の標準化。
- ⚙️ Personalization: 生体データ連動型IoTディフューザーによる、能動的なウェルネス管理。

「勝者は、香りの言語を『データ』と『バイオロジー』の言語に翻訳できる者である。」

